

はじめに

本書は、1998 年度に財団法人第一住宅建設協会の助成を受けて実施した研究「環境モニターによるスプロール住宅地の居住環境評価手法の開発」の結果をまとめたものである。

私の研究室では、これまで、首都圏の都県の中でも近年の人口増加が特に著しい埼玉県から東松山市（95 年度）、越谷市（96 年度）、狭山市（97 年度）を取り上げ、環境モニターによるアンケート調査を行ってきた。

1998 年度は、環境モニターによる居住環境評価手法について、これまでのケーススタディ結果をもとに、その概要と特性をまとめるとともに、新たなケーススタディとして羽生市において環境モニターによるアンケート調査を行ったので、これらを協会からの助成による研究成果として本書に収録するものである。

市民主体の街づくりが始まる今、環境モニターは新しい時代の環境評価手法として大きな可能性を秘めている。本研究が我が国の居住環境の向上に資することができれば幸いである。研究助成をいただいた財団法人第一住宅建設協会に感謝の意を表したい。また、研究の実施及び本書の編集にあたっては、芝浦工業大学大学院博士課程の久保田徹君、同学部生の錦戸陽介君、平井康尋君の協力を得た。併せて感謝の意を表したい。

1999 年 3 月

芝浦工業大学教授

三 浦 昌 生